50年以上の技を生かし、障子を中心に同業の建具店からの注文に応えています。——渋田建具店

渋田建具店
所在地／〒831-0041
福岡県大川市小保637-1
代表者／渋田 定二
TEL0944-88-1739
FAX0944-86-4783
創業／昭和35年（1960年）
従業員／ 3名

2代目で社長の定二さんと跡取りの憲明さん、職人さんの3名で障子などの建具をつくっています。
「狭い工場にこげん大きか特注品が来て、置くところがなくて困っとります」と笑って話す社長。見るとそこには、2mほどの背の高い障子が並んでいました。

TOP VOICE
多種多様なデザインでも対応できるよう工夫し、全て手作業で建具を仕上げています。

注文の多くは同業の建具店から。高さが8尺あるような大きい障子や、下半分の桟を上げ下げできる雪見障子、桟の数の多い洋風のもの、組子を取り入れたデザイン性の高いものなどを、建具店の従業員が作業着のまま相談に来ると言います。
設計士が書いた図面はそのまま作れないことも多く、設計し直して完成イメージ図に向かって腕を動かしていきます。設計は、すべて頭の中。そこには、55年にわたる職人技が生きています。
モットーは「一に納期、二に単価」。とはいえ、すべて手作業のため量産できず、できた建具はほぼ一点もの。組子の部品も手づくりしており、「納期と単価」は努力と工夫の賜物といえましょう。最近は和紙だけでなくワーロンという新素材を使う建具もあり、「世の中の変化に合わせて作っていく」とも。「年だから、もう出来ん」と笑う社長ですが、探求心はまだまだ衰えていません。